

Think Big!



2021.05.28

No. 168

新宿支部の
公式 Twitter も
チェック!

「現業機関における柔軟な働き方の実現について」

5月26日 会社より提案を受け

緊急全地本代表者会議を開催!!

5月26日に会社は業務の融合のためと「統括センター」と「営業統括センター」を柱とする「現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案してきました。会社はこれまでの分業業務から、役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現すると繰り返し、想定する駅や乗務員区、職場の規模などは明らかにしませんでした。

「現業機関における柔軟な働き方について」への 輸送サービス労組の基本的な向かい方

1. 人件費や業務委託費の削減など赤字解消の手段として実施する施策には反対です。
2. 「働きがい」と「生きがい」を実感することができず、夢と希望と生活が脅かされる施策には反対です。
3. 世代交代期に直面する中で、本業である鉄道事業が「副業」とされるような施策には反対です。

鉄道の専門性が蔑ろにされる施策の提案には反対します！鉄道の安全性が担保されるという事が大前提です。「働きがい」と「生きがい」を喪失させ、「安全」はもちろんのこと、「夢」と「希望」が脅かされる施策では、JR東日本の将来はありません！

労働組合として、まず「安全な鉄道輸送」を守る事は最優先課題です！そして、社員の「健康」、「ゆとり」、「働きがい」、「生きがい」を実感できる施策であるべきであります！ 職場からの議論を深めていきましょう！

